

한통련 뉴스레터

제65호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●日本、福島汚染水海洋投棄を強行…支持・擁護の尹政権…高まる反対世論、広がる抗議行動



ソウル市内を行進する汎国民大会参加者たち

日本政府・東京電力、福島汚染水海洋投棄開始

東京電力福島原発放射能汚染水について、日本政府は8月22日の関係閣僚会議で、国際原子力機関（IAEA）の総括報告書や国内外の理解が進んだことをあげて、24日から海洋放出（海洋投棄）する方針を決定、東京電力は24日午後、海洋放出を開始した。

韓米は支持・擁護、朝中は反対・批判

韓国のハン・ドクス首相は24日、国民向け談話を発表し「（日本側が）今後約30年間続く放出の過程でも透明かつ責任を持って情報を公開することを期待し、促したい」とする一方、「国民を最も脅かすのは科学に基づかない偽ニュースと、政治的利益のための虚偽扇動」だと言及した。

朝鮮は24日、外務省報道官名義の談話を通じて日本政府を非難し海洋投棄の即時停止を求めた。朝鮮中央通信が報じた。朝

鮮は「地球の生態環境を破壊し人類の生存を脅かす反人倫的な行為だということは誰も否定できない」と主張し、核の脅威と騒いで核兵器のない世界を主張している日本のこのような行為は日本の二面性を示していると指摘した。

中国外務省の汪文斌副報道局長は24日の記者会見で、「断固たる反対と強い非難を表明する」と述べ、税関当局は日本産の水産物輸入を同日から全面的に停止すると発表。香港政府とマカオ政府も日本産食品の輸入規制を強化した。

朝中両国は25日の国連安保理事会で「汚染水海洋投棄は人類に対する犯罪行為」だと批判した。

ブリンケン米国務長官は15日、韓米日外相会談（オンライン形式）後の記者会見で「米国政府は日本の海洋放出の計画が安全で、満足している」と述べ、米国政府として安全との認識を示していた。

韓日で一斉に反対・抗議行動

24日午前には東京電力本社前で海洋投棄に反対する市民らによる抗議行動が行われた。（別掲記事を参照）

韓国では海洋投棄に反対してきた野党と全国の漁業関連団体、環境団体や市民社会団体が一斉に反対・抗議の声をあげ、記者会見、座り込み、デモ、集会など多様な反対運動を開始した。

「共に民主党」と正義党、進歩党、民生

党、済州緑色党、労働党の6野党は24日、済州島の日本総領事館前で共同記者会見を開き、汚染水の海洋放出は「自国の問題解決のために世界に災いを広げる希代の海洋犯罪行為であり、第2次世界大戦に続き再び犯罪国家の道へと進むも同然だ」と批判した。また、8割を超える国民が反対の立場を示しているにもかかわらず、日本政府の立場を擁護した尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は共犯にほかならないと指摘した。

民主労総、尹錫悦政権退陣運動本部、全国非常時局会議などは、日本の海洋投棄を糾弾し尹政権の対応を要求して、23日午後から26日の汎国民大会までの「72時間非常行動」を展開した。

こうした中、「福島放射能汚染水海洋投棄中止！ 投棄容認尹錫悦政権糾弾！ 汎国民大会」が26日、ソウル世宗大路で5万人の市民が参加し開催された。「日本の放射能汚染水海洋投棄阻止共同行動」と「共に民主党」、正義党、進歩党、基本所得党の院内4野党が共催。

各党から決意表明が続いた。イ・ジェミョン民主党代表は汚染水海洋投棄を糾弾した上で、尹大統領に対し「日本政府を支持・擁護する使い走り、代理人、代弁人」だと批判。国民と共に先頭に立ち闘うと強調した。カン・ソンヒ進歩党院内代表は「汚染水海洋投棄を阻止するためにも尹政権を必ず退陣させなければならない」と強調した。

24日に汚染水海洋投棄に抗議して日本大使館に突入、連行され48時間後に釈放されたカン・ジェボム進歩大学生ネット代表は「この地、この海、この未来の主人公であり主権者の大学生として汚染水海洋投棄が中止されるまで闘う」と決意を明らかにした。

ヤン・ギョンス民主労総委員長は「福島原発には広大な土地があった。海洋投棄の唯一の理由は費用節減」だと指摘。尹政権は科学的に安全だとするが、「30年間の汚染水海洋投棄、誰も安全を保障できないのを『科学』だとしている」と反論した。

汎国民大会で採択した「決議文および国民への行動提案」では、△日本政府は福島

放射能汚染水海洋投棄を即刻中止しろ△放射能汚染水海洋投棄を容認した尹政権を糾弾する△放射能汚染水海洋投棄を尹政権は国際海洋法裁判所に提訴しろと決議。また、△放射能汚染水海洋投棄の中止と尹政権の糾弾を内容とするキャンドル行動を次週内に全国各地（市・郡・区）で開催する△学会、法曹界、保健医療分野、労組、農会などの各界が地域部門で時局宣言を発表する△首都圏集中大会および広域同時多発大会を開催するようにし、9月2日午後4時、世宗大路で汎国民大会を開催することを国民に提案し、汚染水海洋投棄を止めるためにさらに多く集まり、さらに多く行動しよう、海を守り生命を守り未来を守る道をとともに進もうと訴えた。

汎国民大会終了後、参加者は大統領室前までデモ行進した。

日本の汚染水海洋投棄と尹政権の対日屈辱外交を糾弾する！

内外の反対世論にもかかわらず、日本政府は汚染水海洋投棄を強行した。これに対し朝鮮と中国は反対の意思を明確にする一方、米国は韓米日3カ国協力の強化のために「良好な韓日関係」を最優先する立場から、支持のお墨付きを与えた。韓国政府は「賛成したことはない」としながら、反対したこともなく、海洋投棄を事実上、容認している。ハン首相は国民の不安を払拭するどころか、原因を偽ニュースと虚偽扇動に責任転嫁し、尹大統領の光復節演説で示された「日本を支持・擁護し国民を敵とする」政権の姿勢がここでも如実にあらわれた。日本の汚染水海洋投棄と尹政権の対日屈辱外交を厳しく糾弾する。

汎国民大会は野党と共同行動の共催で5万人が結集する抗議行動となった。「国民への行動提案」も具体的に示され、汚染水海洋投棄反対の行動は各界各層、全国規模へと広がりながら国民行動へと発展する可能性を示している。国民行動の組織的成果が反尹政権戦線と尹政権退陣戦線の拡大強化へとつながることにより、11・11総決起の成功はより確かなものとなるだろう。

활동보고 活動報告

● 韓青が夏期講習会を開催…同胞青年の空間で絆を深める



西日本夏期講習会

韓青（在日韓国青年同盟）は8月5日～6日に西日本、26日～27日に東日本で夏期講習会を開催した。全国各地から同胞青年が集まり、一泊二日のプログラムの中で自らの半生や祖国と民族に対する思いを語り合い、絆を深めた。

西日本は香川県の女木島で講習会を開催。女木島まではフェリーで移動し、海水浴や花火、バーベキューなどのレクリエーションを楽しんだ。また学習会も行われ、



東日本夏期講習会

夜遅くまで交流した。

東日本は名古屋市内で講習会を開催。バーベキューや花火などを楽しんだほか、参加者が自身の民族的ルーツを語る企画や韓国民衆歌謡を歌う企画を実施した。

参加者からは「何でも話すことができ楽しかった」「自分自身の民族的ルーツについて改めて認識する貴重な機会になった」という感想が寄せられた。

● 第28回統一マダン生野プレイベントを開催…康宗憲代表が講演



康宗憲代表の講演

第28回統一マダン生野実行委員会は8月27日、9月17日に開催される統一マダン生野のプレ企画として、「朝鮮半島とアジアの平和を考えるつどい」をクレオ大阪中央セミナーホール（大阪市天王寺区）で開催した。

金昌範（キム・チャンボム）実行委員長（韓統連大阪本部副代表委員）が主催者あいさつし、マダンの開催趣旨を解説。朝鮮戦争の始まりから停戦協定締結に至る経過を解説しながら、平和協定について「朝鮮戦争を完全に終わらせるための公式な約束」と語った。

金隆司（キム・ユンサ）韓統連大阪本部代表委員が7月22日にソウルで開催された「停戦70年 朝鮮半島平和行動」を、韓統連母国訪問団の活動とともに報告。訪問団に参加した中山茂さんから感想が述べられ、活動の成果を共有した。

康宗憲（カン・ジョンホン）韓国問題研究所代表が「朝鮮半島の戦争と平和」をテーマに講演。康代表は歴代の米国政府に共通する朝鮮への敵視政策について△韓国軍の作戦指揮権を掌握し、朝鮮の軍事制圧を目的とする韓米合同軍事演習の定例化△朝鮮の体制崩壊・政権交代を圧迫するための手段としての経済制裁などを指摘し、「朝鮮の核兵器、弾道ミサイル開発は朝米敵対関係の産物」と語った。今後の課題として「朝鮮戦争の平和協定を結ばなければ朝鮮半島の平和、東アジアの平和は実現しない」とし、韓国および日本における平和運動の重要性を訴えた。

質疑応答後、金昌範実行委員長が統一マダン生野の内容を紹介した。

●汚染水放出当日に東京電力前で抗議行動…宋世一委員長が連帯あいさつ



東京電力前で連帯あいさつする宋世一委員長

「さようなら原発1000万人アクション実行委員会」は8月24日、東京電力本社前で汚染水海洋放出（海洋投棄）に対する抗議行動を行い、約400人が参加した。

実行委員会の井上年弘事務局長が主催者あいさつ。「岸田政権と東京電力は地元住民になんの説明も理解もないまま一方的に汚染水

放出を決定した。このような暴挙は決して許されない。今後も放出中止を求めて継続して闘っていく」と語った。

各団体からアピール。韓国から「日本の放射能汚染水海洋投棄阻止共同行動」が参加し、国際担当の金福女（キム・ボンニョ）さんが汚染水投棄を批判した。

宋世一（ソン・セイル）委員長が連帯あいさつ。「韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は韓米日軍事協力体制を強化するため、韓日関係の『改善』という名目のもと、日本政府の要求を次々と受け入れている。今回の福島汚染水海洋投棄を認めたのもその現れだ」と指摘。「韓国では全国各地で様々な団体が反対運動を繰り広げている。今後も連帯して反対の声をあげていこう」と語った。

参加者全体でシュプレヒコール。「放射能汚染水を流すな」「東電は約束を守れ」「見切り発車は許さないぞ」とアピールした。

행사예정 行事予定

9月

関東大震災から100年 朝鮮人虐殺の真実から、日本の歴史修正主義を問う9.1集会(愛知)

日時：9月1日（金）18時30分 場所：イーブルなごや ホール 内容—講演（講師：劉永昇（ユ・ヨンスン）さん（「風媒社」編集長） 主催：日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会、「韓国併合」100年東海行動実行委員会、在日韓国民主統一連合愛知本部 連絡先：090-8866-4015（竹内）

関東大震災朝鮮人虐殺記録映画「隠された爪跡」上映会(三重)

日時：9月3日（日）13時開場 13時30分開会 場所：四日市市総合会館 内容—第1部 映画上映 第2部 講演会「韓日関係の現状と私たちの課題」（講師：金昌五（キム・チャンオ）韓統連大阪本部副代表委員） 主催：在日韓国民主統一連合三重本部 在日韓国青年同盟三重県本部 連絡先：090-9021-4879（キム）

第8回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時：9月9日（土）午後5時30分 場所：新宿駅西口地下イベント広場 主催：東京民主実践連帯 連絡先：090-4298-6113（李）

第28回統一マダン生野

日時：9月17日（日）正午 場所：生野区・いくのパーク 内容—ステージ（6・15市民合唱団、ちゃんへん. さんによるジャグリング、安聖民（アン・ソンミン）さんによるパンソリ、きむ・きがんさんによる歌など）、屋台、各団体のアピール 主催：第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先：06-6711-6377（チェ）